



▲当日は、3歳の子どもをはじめ150名が参加

昨年度制定された環境基本法により「環境の日」とされた六月五日(日)、西条キャンパス周辺でも「散乱ごみ追放」キャンペーンが繰り広げられた。
当日は、西条駅周辺と広大周辺に分かれて実施されたもので、広大からは、教職員、学生、留学生を含め約五十名が参加し、マツダ、ロータリークラブ、東広島市シルバー人材センターなどからの参加を併せて約百五十名が、広大周辺、東広島運動公園周辺などの各コー

西条キャンパス周辺散乱ごみ追放キャンペーン実施



東広島市
西条警察署



◀沢筋に不法投棄されたゴミと立札

スに分かれて空き缶などの散乱ごみの回収に当たった。
午前十時過ぎから作業を始め、作業終了後の正午前には、トラック一杯分のごみが収集された。
林の中や草むらの中には、まだ手つかずの状態のごみが放置されており、投棄防止としては、住民のモラルの高まりに期待するしか方策がないのが現状である。



▲本番前のリハーサル風景

原田学長、広響を伴奏にリサイタル

五月三十一日(火)、広島国際会議場フェニックスホールで、「広大卒業生就任一周年記念」と銘打って、原田康夫学長のリサイタルが開催された。
開演は十八時三十分から。
ほぼ満席の場内で、十曲以上の喉を披露し、共演のクリスティン・ウォルターズさん(ソプラノ歌手)ともデュエット。
最後は、観客の盛んなアンコールに応え得意な四曲を披露した。
広島交響楽団との息もぴったりで、最後に音戸の舟歌でフィナーレとなった。
なお、収益金は広大の国際交流基金などに寄付が予定されている。

リカレント教育推進事業―県、市の補助で継続の方針

広島大学が代表機関として世話をしてきた広島地域リカレント教育推進事業(三年間)は平成五年度で終了したが、これまでの文部省から

の推進事業費はなくなるが、当面は広島市および広島県に働きかけ、事業を縮小してでも、本事業を続ける方向で検討されている。

大学入試センター試験、広大会場での受験生減少へ

平成七年度大学入試センター試験試験場計画案によると、広島大学における受験生の受入れ計画数は一〇九〇〇名であり、昨年度の当初計画数より四

〇〇名少なくなっている。これは広島市立大学および広島経済大学が新たに試験会場として加わったことによる。